

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立新居浜南高等学校

学校番号 (6)

評価実施日	令和4年2月(書面開催)
委員(11名)	所 属 等
	学校関係者評価委員(総合学科育成会会長) 学校関係者評価委員(P T A会長) 学校関係者評価委員(総合学科育成会副会長) 学校関係者評価委員(P T A副会長) 学校評議員
評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
①組織運営等 ○学生にとって教職員との関係は重要で、その教職員のモチベーションを維持できる組織であってほしい。 ○先生がそれぞれの持ち場で積極的に活動し、全教職員が一丸となって学校運営に携わっている様子がうかがえる。 ○職場環境に少し不満もあるようだが、約半数の人は良いと少しでも改善できる場所があれば良い。 ○コロナ禍で制限された中、生徒と一体となった学校活動運営を工夫して実施していた。働き方改革で、働き方が向上することにより、学校活動もさらに充実すると思うので、今は苦労が増えるが、引き続きよろしくお願ひしたい。 ○コロナ禍で学校行事が制限される中でも有観客での体育祭の実施等、最大限の努力をしていた。	○今年度も昨年度同様、新型コロナウイルス感染症拡大により、学校運営においてさまざまな影響を受けた。「できない」ではなく、「できること」「できる形態」を探り、「どのようにすれば可能か」を考え、今年度以上に工夫して来年度は取り組みたい。 ○生徒だけでなく、教職員もコミュニケーション不足となる傾向を感じるがあった。協働する機会を増やし、コミュニケーションを活性化を図り、風通しのよい組織づくりを行いたい。
②教育課程・学習指導 ○タブレットでの授業等、個々に得手・不得手があると思うので取りこぼしが無いようにサポートしてあげてほしい。 ○学習時間など、高い目標にチャレンジしていて良い。 ○授業に関するアンケート(生徒用)から、生徒と先生との関係の良さを感じられる。 ○総合学科の特性に応じた教育課程が編成されていて、生徒の多様なニーズに応じる工夫がされている。また、授業に関するアンケート結果(生徒用)は、充実したすばらしい授業が行われているかということを示している。ただし、パソコン教育の数値は低くなっている。 ○学校だから、やればできる、やろうという意欲づくりは大切である。 ○総合学科の魅力発信を引き続きお願ひしたい。	○1年次については、新学習指導要領による教育課程の実践の中で、総合学科ならではの教育について研究をさらに深めていく。 ○GIGAスクール構想に係る「生徒一人1台端末」の配備により、生徒一人一人に最適化された教育の実践を進めるとともに、全教職員でICT関連のスキルアップを継続していく。 ○今年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況にも対応できるようにリモート等の授業方法について研究を進め、実践力を向上させたい。 ○学習時間の質的量的増加を図り、ICT機器の活用も含め、学習習慣の定着を促していきたい。
③生徒指導 ○教職員の声掛けで変わってくると思う。高校生らしく指導してほしい。 ○ホームルーム活動などの時間が良いテーマで活動されている。 ○多様な人の集団の中で一貫性ということは大切である。教育活動の前に生徒指導が大切である。	○生徒指導について、生徒一人一人を大切にするとともに、引き続き適切な指導を継続する。 ○交通安全に対する意識をさらに向上させ、交通法令の遵守、交通マナーの向上について生徒自身に考えさせる指導を実践する。 ○自転車乗車時をはじめ、交通事故ゼロを目指して指導を強化する。
④進路指導 ○必要に応じた指導ができていのように感じる。どんどんアドバイス等をお願ひしたい。 ○大きな会社に入社されているガッツのある人間が必要である。 ○就職・進学ともに100%の実績を残していることに感動した。 ○就職内定率と進学合格率共に100%で、進路指導の成果が上がっている。 ○目標を持ち、将来に向かっての進路指導は大変だろうと多くの人が満足できるように。	○今後も、高校3年間を見通した進路指導を推進していくことで、生徒の進路実現を図っていく。 ○総合学科らしい学習指導を実践し、8系列の特色を生かした進路指導を推進する。 ○進学指導において、系列に関する指導等、教員の個の力に頼る部分が少なくない。組織としての指導の在り方を検討し、教員の負担感の軽減を図るとともに、効率的な進路指導の在り方を研究したい。 ○入試制度改革や社会情勢の変化に関する情報を広く収集するとともに、生徒に還元する。

<p>⑤特別活動・ボランティア活動</p> <p>○コロナ禍にあっても、よく活動していると思う。落ち着いたら積極的にもっと活動してほしい。</p> <p>○すばらしい。</p> <p>○南高の生徒の評判はとても良い。</p> <p>○VYS部とユネスコ部は地域との関わりの中で多彩なボランティア活動を熱心に行っており、市民からも高い評価を受けている。また、体育局の部活動もすばらしい成果を収めていると思う。</p> <p>○学業以外で今だからできる奉仕の心はこの時期に大切である。</p>	<p>○昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染症拡大により、ボランティア活動等については、大きく制限された。感染症の拡大状況によっては、引き続き活動を制限せざるを得ないが、「何ができるか」「どのようにすれば可能か」を考え、活動の方法・在り方を工夫していきたい。</p> <p>○運動部・文化部とも、生徒の活動の場をどう確保するかを考えながら、効率的な活動を工夫したい。</p>
<p>⑥保健管理</p> <p>○コロナ禍により、日頃から体調管理等行っているため風邪等も引きにくくなっているかもしれない。相互管理で過ごしてほしい。</p> <p>○適切なアドバイスにより、健康管理ができています。</p> <p>○心身の健康維持は自分自身がどう生きていくかにかかっていると思う。</p> <p>○感染症対策を徹底に感謝する。</p>	<p>○生徒が学校で、安心・安全に活動できるように感染症対策には引き続き学校をあげて全力で取り組んでいきたい。</p> <p>○学校の施設・設備を常に点検・整備し、生徒にとって安心・安全な教育環境を維持するよう取り組んでいきたい。</p> <p>○自然災害に対する備えなどの防災教育を含めた安全教育を推進するとともに、危機管理マニュアルに基づき、有事の際に適切な行動がとれるように、必要な研修等を実践していきたい。</p>
<p>⑦人権・同和教育、特別支援教育</p> <p>○難しい問題、課題ではあるが、意識付けが重要だと思う。学びを取り入れ、生かしてほしい。</p> <p>○エコキャップなどの運動には参加可能な場合、持って行きたい。</p> <p>○世の中は人との関係、関わり以外の何物でもない。人としての生き方が問われる。</p>	<p>○新型コロナウイルス感染症をめぐる人権問題について、教職員と生徒で共通理解を図るとともに人権意識に根差した言動を指導していく。</p> <p>○人権だより「皆見(みなみ)」を来年度も継続して発行するとともに、ICT機器の活用や紙面を工夫するなど、人権・同和教育の周知・啓発に努める。</p> <p>○生徒や家庭の人権意識高揚について、啓発活動を継続する。</p> <p>○随時、オンライン等を利用した研修も取り入れたい。</p>
<p>⑧図書・研修</p> <p>○読書離れが進む中、興味を持たせて身近に感じる工夫をこれからもお願いしたい。研修もオンライン等を活用して積極的に。</p> <p>○今月のトピックスのような図書の紹介や購入が楽しそうである。</p> <p>○図書室の環境整備などを通して図書室利用の指導が行われているが、貸出冊数では昨年度あたりから大幅にダウンしている。何が原因か。</p> <p>○活字から学べるという本は心の栄養なので、できるだけたくさんの本を読み、本の楽しさを感じてほしい。</p> <p>○電子書籍の利用も認める一方、読みたい本の導入を進めて地道な取組の継続をお願いしたい。</p>	<p>○図書室の在り方や広報の仕方について工夫し、より魅力的な図書室経営を検討する。貸出冊数の減少について、原因を考察し、図書室への来室者を増やす手立てを工夫する。また、新規購入図書分野等について工夫する。</p> <p>○「生徒一人1台端末」を有効に活用した学習指導の方法等、教職員相互の情報交換、校内研修や校内研究授業等を通して授業者自身のスキルアップを図っていききたい。</p>
<p>⑨ICT（情報通信技術）教育</p> <p>○生徒自身は上手に活用できていないと感じているようなので、サポートしてほしい。他校との意見交換をし、参考にし合うことも考えられる。</p> <p>○今の社会、ICT抜きに考えられない。有効な活用を願う。</p>	<p>○「生徒一人1台端末」を有効に活用した学習活動の実現のため、教員・生徒ともにICT機器操作に関するスキルアップを図る。</p> <p>○タブレット等の端末を使用する場面が多くなる中で、法令違反だけでなく、ネットモラルなどの新しい問題を未然に防ぐための指導を行っていききたい。</p>
<p>⑩教育相談</p> <p>○生徒たちが身近に感じて、相談できる場所や先生が居ることは大きな支えになると思う。保護者との連絡会があるのは知らなかった。</p> <p>○人間は心、感情の持ち主である。いつどんな時も人を思いやり、分かち合う人であってほしい。</p>	<p>○教育相談室は、週に一度、スクールライフアドバイザーが生徒や保護者との相談業務に当たっており、利用頻度は高い。その他、教育相談課の教員等が生徒の悩みや相談に対応しており、生徒は比較的気軽に利用している。来年度もこの取組を継続したい。</p> <p>○定期的なアンケート等で、いじめの未然防止と早期発見・早期対応に引き続き努めていく。</p>

<p>⑪保護者、地域住民との連携</p> <p>○コロナ禍のため、密な交流はできていないが、コロナも3年目になるので、工夫して積極的に活動してほしい。</p> <p>○コロナ禍で生徒のことが第一に考えられるべきであるが、保護者との連携もより大切なことだと思う。</p> <p>○地域で育てたり、見守っている根底を忘れないでほしい。</p> <p>○交流行事が減ったのは残念であるが、できる範囲での活動を今後もお願したい。</p>	<p>○新型コロナウイルス感染症により、昨年度と同様、今年度も、地域との連携は大きく制限された。地域との連携は、生徒の主体的活動の機会でもあり、実施可能な方法等について工夫していきたい。</p> <p>○ホームページを適宜更新し、学校行事などの生徒の活動の様子を公開し、学校の魅力化推進を進める。</p> <p>○「マチコミメール」を用いて速報情報や校納金等の納入などの定期的な情報の周知に活用を続けていきたい。</p>
<p>⑫「産業社会と人間」「総合的な探究の時間」等</p> <p>○学びの集大成であるので、高校時代の思い出の一部としてこれからも力を入れてほしい。</p> <p>○常に人生は目標を見付け、自分なりにできることを求めてほしい。</p> <p>○課題研究等発表会の公開に感謝する。一年間の成果がよく分かった。</p>	<p>○「産業社会と人間」「ライフスタディⅠ・Ⅱ」についても、昨年度と同様、今年度も活動や発表会の在り方に大きな制約を受けた。今年度の工夫した経験を生かし、実施の在り方をさらに工夫していく。</p> <p>○生徒が発表する場を多く設定することで、生徒の学習が深化している。今後もこのような発表の指導を行っていきたい。</p>
<p>⑬事務管理</p> <p>○電話の対応はいつも丁寧である。物品購入の相談を余裕を持って事前にしてほしい。</p> <p>○いつも資料提供がありがたい。</p> <p>○地味なことであるが、情報と正確、丁寧さを常に持ち合わせてほしい。</p> <p>○事務連絡等、電話にて丁寧な説明を受けた。</p>	<p>○事務課の対応について、保護者や地域の方々から高い評価を受けており、引き続き学校の顔としての役割を認識し、丁寧な接遇に努める。</p> <p>○学校の施設・設備の整備と充実に努め、教育環境の整備を順次進める。</p> <p>○業務全体を見直し、無駄を省き、効率化を図る。</p>
<p>⑭総合評価・提言等</p> <p>○来年度はウィズコロナ生活も3年目になる。諦めることばかりでなく、創意工夫も持って南高らしさ、南高で良かったと思えるように努力してほしい。現場も大変だとは思いますが、気持ち一つで変わることもある。生徒だけでなく、教職員の方々も生き生きとしてほしい。</p> <p>○コロナ禍のため、学校のイベントに参加できていないのが残念である。ホームページや資料を見て、南高生の活動がすばらしいと思う。ありがたい。</p> <p>○コロナ禍で生徒の安全を守りながらの学校行事や授業を進めていくことは大変なことだと思う。前例がなく、刻々変化していく中で、苦勞の連続だろう。これからもまだ気の抜けない学校生活が続くことだろうが、体を大切にしながら生徒を見守ってほしい。学校へ自由に入れないこと、先生に会うことができないことが残念である。顔を見ながら会合ができる日が早く来ることを願っている。</p> <p>○昨年度と同様、南高マニフェストにはいわゆる数値目標が並んでいる。数値目標は具体的で良い面もあるが、反面、目標が数値化できる側面に限定されるという弊害があるのではないかと思う。教育は生徒の内面に関わる営みであるから、目標を数値化することが本質的に難しい側面があるのではないかと思う。それと同時に、成果を数値化することができない側面もあると思う。</p> <p>○学校評価に関するアンケート(生徒用及び保護者用)の評価項目の中には、生徒や保護者がこれに答えるには、明らかに無理だと思う項目がたくさんある。教員でも難しいのではないだろうか。これまでその項目で調査されてきたので、今すぐ変更することは難しいだろうが、今後の検討課題として、保護者用と生徒用の評価項目の「具体化」を提案する。</p> <p>○学校評議員として、自分自身が最も注目しているのは授業に関するアンケート(生徒用)であるが、このアンケートは質問事項が簡明なので、生徒の実態を正確に表していると受け止めている。AとBを合わせると、パソコン教育以外は、どの項目も90%以上の数値を示しており、すばらしい成果が上がっている。</p> <p>○これまで行われてきた学校評価は「全体評価」であるが、教育はよく言われているように「生徒一人一人の個性を見付け、引き伸ばす」ことであるから、生徒一人一人がどれだけ成長したかを評価する「個別評価」も大切だと思う。今後の一層の尽力を願う。</p> <p>○いつもそばで見聞きして感じたら、生き生きとした生徒たち、先生たちと会えることをとても楽しみにしている。学校が好きと思えるような表情を見る度に、「あー南高が好きなんだ」と、私までうれしくなる。三年間ここにきて良かった。次のステップにつながる何かを見付けて築立ってほしい。青春の一番多感な年頃だからこそ情性のない一日一日のために魅力ある学校づくりも大切である。私ももう一度この時期に帰れるのなら、もう一度勉強したい。部活動、課題研究に意欲を持たせ、やる気を持たせ、なお一層の教育環境、学習環境の向上に奮闘してほしい。毎日毎日遅くまでご苦勞様。</p>	<p>○学校や生徒の活動状況について、概ね、高く評価していただいている。教職員が一丸となり、より一層、学校の魅力化に邁進する。</p> <p>○数値化できにくい生徒の変容等について、検証の方法を引き続き研究したい。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に留意しながら、地域との連携をより一層深め、地域から愛され、地域とともに歩む個性豊かな南高生を育成する。</p> <p>○総合学科としての魅力や本校の魅力を広く内外に発信することで、生徒数の確保に努める。</p>